

関西が誇る音楽家が並び立つ!!  
新春を寿ぐ、新世界交響曲

「指揮」瀬山智博

「ピアノ」鈴木愛美

# 21世紀の From the New World 新世界

モーツァルト：歌劇「劇場支配人」序曲

シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 op.54

ドヴォルザーク：  
交響曲 第9番 ホ短調「新世界より」 op.95

「管弦楽」関西フィルハーモニー管弦楽団

2026 **1/10** (土) 2:00pm開演 (1:00pm開場)

A 5,500円 B 4,500円 C 3,000円(消費税込)

**ザ・シンフォニーホール**

主催/朝日友の会、ABCテレビ 後援/朝日新聞社 協力/ザ・シンフォニーホール

ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

平日10:00~17:30 ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

■アスク プレイガイド

06-6222-1145 [10:00~17:30(土日祝定休)]

■ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333 (火曜定休)

■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:301-497]

■ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:56033]

■CNプレイガイド 0570-08-9990

■e+ (イープラス) <https://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCぴあ (webで予約・購入)

ABCぴあ

検索

携帯サイトは  
こちら▶▶▶

<https://abc-ticket.pia.jp/>

座席選択が可能! 24時間購入できる! クレジット決済も可能!!  
メルマガで優先予約をご案内!! 1度登録すると次回予約が簡単!!

※未就学児童の入場はお断り致します。※止むを得ない事情により出演者・曲目・曲順が変更となる場合がございます。予めご了承ください。



お問い合わせ

公演情報は、〈ABCクラシックガイド〉のホームページへ  
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

# 21世紀の新世界

From the New World

## 関西が誇る音楽家が並び立つ!! 新春を寿ぐ“新世界交響曲”

清々しい新年の空気の中、ザ・シンフォニーホールで音楽の“初感動”をお楽しみいただく「21世紀の新世界」、今年も世界に羽ばたく俊英が初春の舞台に登場です!

2023年日本音楽コンクール優勝に続き、2024年、第12回浜松国際ピアノコンクールで日本人初優勝を飾った、箕面市出身の鈴木愛美さんがシリーズ初登場! 鈴木さん自身、舞台で初めての演奏となるシューマンのピアノ協奏曲を披露いただきます。豊かな幻想に溢れるシューマン唯一のピアノ協奏曲。名コンクールに日本人優勝者として初めて名を刻んだ鈴木愛美さんが、初めて紡ぐシューマンの名曲に期待は高まるばかりです。

マエストロ瀬山と関西フィルは、毎年“新世界交響曲”の新たな魅力を模索し続けています。タッグを組んで10年目、月日をかけて醸成されてきたドヴォルザークの神髄をご堪能ください。

音楽界の未来を担う俊英が繰り広げる、艶やかな新年の舞台をどうぞお楽しみに!



[指揮] 瀬山智博 *Tomohiro Seyama, Conductor*

これまでにドイツ・マグデブルグ歌劇場、デッサウ・アンハルト州立歌劇場、スイスのヴィンタートゥール歌劇場などの歌劇場で指揮者を務め、オペラとシンフォニーの両分野において国際的な活動を続けている。2008年にドイツのアーヘン市立歌劇場のコレペティートルとして活動開始。2009年にウィーンのシェーンブルン宮殿歌劇場でモーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」を指揮してヨーロッパデビュー。その後、ブレゲンツ音楽祭、グラフェネツグ音楽祭やトリノ王立歌劇場においてアシスタント指揮者を務め、2016年からはドイツ・マグデブルグ歌劇場のカベルマイスター(専属指揮者)として活動。ビゼー「カルメン」、ニコライ「ウィンザーの陽気な女房たち」、ロルツィング「密猟者」など、数々の公演を指揮し好評を博した。2003年からウィーン楽友協会合唱団のメンバーとして研鑽を積み、同合唱団コレペティートルとして活動。

ヨーロッパではこれまでにBBC交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、ソフィア祝祭管弦楽団、ドイツ・マグデブルグ・フィルハーモニー管弦楽団、デッサウ・アンハルト州立管弦楽団、ムジークコレギウム・ヴィンタートゥールなどを指揮。日本国内では、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団など、多数のオーケストラと共演を重ねている。3歳よりメキシコシティで音楽教育を受け始める。大阪音楽大学ピアノ科、ウィーン国立音楽大学指揮科、同大学院修了。指揮を故湯浅勇治、故小澤征爾、レオポルト・ハーガー、ウロシュ・ライオヴィチ、ファビオ・ルイジの各氏に師事。シエナ・キジアーナ音楽院オーケストラ指揮ディプロマ取得。シカゴ・ショルティコンクールセミファイナリスト、ブザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト。2018年よりトーン・キュンストラ管弦楽団アシスタント指揮者、2019年よりオペラ・ノヴェッラ指揮者、2021年よりノマドオペラ音楽監督を務める。近年はウィーン少年合唱団の指導、ウィーン国立歌劇場合唱団コレペティートルを務めるなど、多岐にわたる活動を続けている。テレビ朝日「題名のない音楽会」出演。ABCラジオ「堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー」最多出演回数更新中。



[ピアノ] 鈴木愛美 *Manami Suzuki, Piano*

2024年11月、第12回浜松国際ピアノコンクール(小川典子審査委員長)にて日本人初となる第1位、および室内楽賞、聴衆賞、札幌市長賞、ワルシャワ市長賞を受賞。2023年、第92回日本音楽コンクールピアノ部門第1位および岩谷賞(聴衆賞)、野村賞、井口賞、河合賞、三宅賞、アルゲリッチ芸術振興財団賞、INPEX賞受賞。第47回ビティナ・ピアノコンペティション特級グランプリおよび聴衆賞、あわせて、文部科学大臣賞、スタインウェイ賞受賞。

これまでに、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団等と、梅田俊明、大井剛史、ユベール・スダーン、角田鋼亮、藤岡幸夫、松尾葉子各氏の指揮で共演。今後、札幌交響楽団、群馬交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、富士山静岡交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、広島交響楽団等と共演予定。

2002年大阪府生まれ。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース)を首席で卒業。現在、東京音楽大学大学院修士課程に特別特待奨学生として在学中。浜松国際ピアノアカデミー、霧島国際音楽祭に参加。これまでに、稲垣千賀子、佐藤美秋、石井理恵、仲田みずほ、橘高昌男、高田匡隆、石井克典の各氏に師事。

## [管弦楽] 関西フィルハーモニー管弦楽団 *Kansai Philharmonic Orchestra*



1970年発足、2018年公益財団法人化。2025年楽団創立55周年を迎えた。関西を代表するオーケストラの一つとして積極的に活動を続けている。2025年4月より、藤岡幸夫が総監督・首席指揮者に就任し、新たな指揮者陣体制で臨む。鈴木優人が首席客演指揮者、リョウ・オクマンがアーティスティック・パートナー、世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイが名誉指揮者に就任。永久桂冠名誉指揮者に故飯守泰次郎(2023年没)。東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視。関西出身の若手アーティストも積極的に起用し、クラシック音楽の裾野を広げる活動など、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとして好評を博している。2021年度に飯守泰次郎×関西フィル「ワグナー特別演奏会」が、2022年度に山田和樹×関西フィルほか大阪4楽団「シューベルト交響曲全曲演奏会」が音楽クリティッククラブ賞本賞を受賞。2023年10月にはベルギー、フランス、ドイツの3カ国3都市を巡る楽団2度目の欧州公演を開催、各地で大きな注目を集めた。BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30)に藤岡幸夫と共に出演中。

オフィシャル・ホームページ <https://www.kansaiphil.jp/> X(旧Twitter)アカウント @kansaiphil